



徳島県立総合大学校広報紙

# まなびーあ徳島便り

記念号  
編集・発行  
徳島県立  
総合大学校

## 県立総合大学校「まなびーあ徳島」

# 開校10周年に寄せて

徳島県立総合大学校校長

(徳島県知事) 飯泉 嘉門



徳島県立総合大学校「まなびーあ徳島」は、県民の皆様の様々な学習ニーズに対応し、21世紀を担う人材育成に取り組む、県民、まなび、拠点」として、平成20年6月に開校いたしました。昨年末までに開催した主催講座数は1万3千件を超え、延べ79万人以上の方々に受講いただいております。講座内容には、時宜を捉えたものを積極的に取り入れており、若い世代から科学技術に親しんでいただく「とくしま科学技術アカデミー」や、より良い社会づくりに貢献する消費行動「エシカル消費」に関するフォーラムなども開催いたしました。また、受講を通じて多くの学識を培われ、認定試験を突破された方に「とくしま学博士」の称号をお贈りし、指導者として活躍いただいております。さらに、ワンストップによる生涯学習情報の集積・発信の

役割も担うとともに、とくしま政策研究センターでは、地域課題の解決に向けた調査・研究を行って参りました。そして、今年6月、まなびーあ徳島」は開校10周年を迎えます。これまで、まなびーあ徳島」をご利用いただいた方、また運営を支えていただいた皆様に、この場をお借りして、心から感謝を申し上げます。一方、この10年の間に、我が国では少子高齢化や人口減少が進行するとともに、経済のグローバル化や科学技術の発展など社会環境が大きく変化し、「学び」のニーズも多様化して参りました。今や「人生一時代」とも言われる中、生涯学習に取り組む意義は、一層大きなものとなっております。そこで、まなびーあ徳島」では、次なる10年に向けた展開として、「課題解決型の学び」の推進を目指し、高等教育機関と連携した新たなコースや講座の開設をはじめ「学び」の充実を図るとともに、「とくしま学博士」の方々の活動支援、ファシリテーターの養成などにも取り組んで参ります。

今後とも、県立総合大学校「まなびーあ徳島」では、充実した学習環境のもと、県民の皆様のニーズをしっかりと

捉え、学ぶ方が主役の「県民、まなび」拠点」として運営し、「地方創生」さらには「一億総活躍社会」の実現につなげて参りたいと考えております。皆様には、これからも「まなびーあ徳島」に親しんでいただき、生涯を通しての学習になお一層励まれることにより、地域で、あるいは仕事の場で、ご活躍されますことを大いに期待しております。

元県立総合大学校運営協議会長

玉有 繁



徳島県立総合大学校「まなびーあ徳島」の開校10周年を心よりお慶び申し上げます。徳島

県民すべての生涯にわたる学びの拠点として、「まなびーあ徳島」は逐年充実強化が図られ、大変大きな実績を挙げてこられました。活動の中心である主催講座については、受講生の累計は本年度で80万人を超える見込みであります。県民の総数に匹敵しようとしております。また、学びの励みとして交付されている奨励賞の受賞者の数や取得単位数はすばらしく伸び、多くの県民の学ぶ意欲がますます高まっておりますことを示しています。

を示しています。

ひるがえって我が国は今、未経験の変化の時代にあります。最大のものは人口の減少と超高齢化であり、今後、そのスピードがますます増していくという事です。日本人の平均寿命は世界のトップクラスにまで伸び、政府では「人生100年時代」という将来ビジョンに立ち、生涯を通じて人々の能力を高めていく「人づくり革命」ということが大きく取り沙汰されるようになっていきます。一方、徳島などの地方圏での人口減・高齢化の進行は著しく、現在、国・地方あげて地方創生政策が取り組まれていきます。こうした地域の再生、活性化についても、主体となる地域住民の自主的な学びが不可欠です。「まなびーあ徳島」には、こうした地方創生に向けた学びと人づくりの基盤としてますます大きな期待がかかっています。このとき、「まなびーあ徳島」が併せ持つ政策支援機能(とくしま政策研究センター)や人材活用機能が戦略的なサポートをすることができま

す。もちろん、一人一人にとつて、志を同じくする友と一緒の学びは、生きる充実感や人との交流、ふれあいの機会をもたらししてくれます。「少にして学ぶ」のはもとより、「壮にして学ぶ」「老いて学ぶ」喜び、楽しみをますます広げていってほしいものです。

「まなびーあ徳島」のますますの発展をお祈りします。







